



## News Release

2018年12月12日

### GARDP、エーザイおよび武田薬品による新たな抗菌薬の探索に関するパートナーシップ契約について

#### 化合物の抗菌活性試験実施に関する複数の製薬企業との初めての合意

Global Antibiotic Research and Development Partnership (グローバル抗菌薬研究開発パートナーシップ、本部:スイス・ジュネーブ、以下「GARDP」)、エーザイ株式会社(本社:東京都文京区、以下「エーザイ」)および武田薬品工業株式会社(本社:大阪市中央区、以下「武田薬品」)は、抗菌活性を有する新たな化合物を発見することを目指し、エーザイおよび武田薬品の化合物ライブラリーを用いた GARDP によるスクリーニング実施に関する契約を締結しました。今後、エーザイおよび武田薬品から提供された化合物の抗菌活性試験は Institut Pasteur Korea (所在地:キョンギド・ソナム市、以下「韓国パスツール研究所」)にて実施されます。複数のパートナーによる本契約は、新規抗菌薬の開発と持続可能なアクセスの担保により、深刻な細菌感染症に立ち向かう GARDP の取り組みを推し進めるものです。

深刻な細菌感染症に対して、現在開発中の抗菌薬はわずかであり、薬剤耐性(AMR\*)の脅威は今や世界的な公衆衛生上の大きな課題となっています。薬剤耐性の感染症により毎年約 70 万人が命を落としており<sup>1</sup>、重症細菌感染症、特にグラム陰性菌感染症は WHO (世界保健機関) により世界的な公衆衛生上の優先課題として特定されています。

本プロジェクトではエーザイおよび武田薬品が有する、最新の創薬化学を駆使して蓄積された化合物ライブラリーから、これまでに抗菌活性スクリーニングが行われていない化合物のスクリーニングを実施します。抗菌活性スクリーニングの対象となるのは、WHO が公表した「優先的に対処すべき病原菌」リスト<sup>2</sup>において新たな抗菌薬の開発が急務とされた細菌です。GARDP は本スクリーニングを通じ、次の開発段階に進むべき新たな化合物を選定することを目指します。

GARDP 研究開発部長である Seamus O'Brien 博士は、「本パートナーシップが締結されたことを大変嬉しく思います。パートナーシップは新たな抗菌薬の探索と開発を加速させるだけでなく、製薬業界が抗菌薬の研究開発に関わり続けられるよう支援します。」と述べています。「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成には薬剤耐性の克服が欠かせません。GARDP の特長は、早期の探索段階から前臨床、臨床を経て患者に新薬を届けるまでの抗菌薬開発におけるすべてのプロセスを実行できることです。」

エーザイの上席執行役員 hhc データクリエイションセンター長（兼）筑波研究所長である塚原 克平博士は、「エーザイは、人類の脅威となっている薬剤耐性菌に効く新しい抗菌薬を発見するという GARDP の取り組みに共感し、化合物ライブラリーを提供します。そこから発見された種から新しい薬が生み出され、耐性菌により命を落とすことのない世界が実現することを願っています。」と述べています。

武田薬品のニューロサイエンス創薬ユニット長である Ceri Davies 博士は、「この創造的なパートナーシップに貢献し、生命を脅かす薬剤耐性を治療する新規医薬品の研究開発の促進に関われることを武田薬品は嬉しく思います。」と述べています。

韓国パスツール研究所の CEO である Wangshick Ryu 博士は、「韓国パスツール研究所は GARDP との連携により、薬剤耐性の解決に取り組む非常に重要なグローバルプロジェクトに参画できることを誇りに思います。世界は抗菌薬が効かなくなる事態を防ぐため、グローバルで連携したアクションを取る必要があります。GARDP の主導による本プロジェクトは、グローバルな製薬企業が有する技術と韓国パスツール研究所のリソースを結び付け、この差し迫った世界的な要求に積極的に応えるものです。我々が一丸となり、一層の貢献ができることを願っています。」と述べています。

\*AMR: Antimicrobial resistance

以上

### **GARDP (Global Antibiotic Research and Development Partnership) について**

GARDP は新規もしくは改良された抗菌薬の開発と持続可能なアクセスの担保により、全世界的な公衆衛生ニーズに対応する非営利の研究開発組織です。WHO（世界保健機関）および Drugs for Neglected Diseases *initiative*（顧みられない病気の医薬品開発イニシアティブ：DND<sup>i</sup>）により設立されました。WHO はその薬剤耐性に関するグローバルアクションプランの中で、新規の抗菌薬や診断法の研究開発を喚起する新たな官民パートナーシップの必要性を訴えており、GARDP はその重要な役割を担っています。

[www.gardp.org](http://www.gardp.org)

### **エーザイ株式会社について**

エーザイ株式会社は、本社を日本に置く研究開発型グローバル製薬企業です。患者様とそのご家族の喜怒哀楽を第一義に考え、そのベネフィット向上に貢献する「ヒューマン・ヘルスケア（hhc）」を企業理念としています。グローバルな研究開発・生産・販売拠点ネットワークを持ち、戦略的重要領域と位置づける「がん」「神経領域」を中心とするアンメット・メディカル・ニーズの高い疾患領域において、世界で約 1 万人の社員が革新的な新薬の創出と提供に取り組んでいます。

当社はグローバル製薬企業として世界の患者様へ貢献することを使命としており、開発途上国・新興国における医薬品アクセスの改善に向け主要なステークホルダーズとの連携を通じ積極的な活動を展開しています。

エーザイ株式会社の詳細情報は、<https://www.eisai.co.jp> をご覧ください。

### **韓国パスツール研究所 (Institut Pasteur Korea) について**

韓国パスツール研究所はグローバルヘルスの課題に取り組む国際的な研究機関です。疾患メカニズムの解明や新たな治療薬開発のため、最先端のアプローチを駆使しています。多くの専門分野にわたるプロジ

エクトの推進により創薬と経済成長を先導し、韓国の科学的な知性と技術の発展に貢献しています。また韓国パスツール研究所はパスツール研究所が有する国際的なネットワークの一員です。韓国とグローバルな生物薬剤科学の架け橋となり、グローバルなアライアンスと共同した研究プロジェクトをもとに韓国の研究開発を促進するなど、ハブ機関として、同ネットワークにおける重要な役割を果たしています。

<報道関係問い合わせ先>

GARDP（特定非営利活動法人DNDi Japan内）

井本 大介

E-mail: [dimoto@dndi.org](mailto:dimoto@dndi.org)

Tel: 03-6258-0303

エーザイ株式会社

PR部

Tel: 03-3817-5120

武田薬品工業株式会社

コーポレート・コミュニケーション部

金生竜明

Email: [tatsuhiko.kanoo@takeda.com](mailto:tatsuhiko.kanoo@takeda.com)

Tel: 03-3278-3634

韓国パスツール研究所

Eunjung Eom

Email: [eunjung.eom@ip-korea.org](mailto:eunjung.eom@ip-korea.org)

Tel: +82-31-8018-8047

出典

1 O' Neill, J. (Chair) (2016). *Tackling drug-resistance globally: Final Report and recommendations*.

[https://amr-review.org/sites/default/files/160525\\_Final%20paper\\_with%20cover.pdf](https://amr-review.org/sites/default/files/160525_Final%20paper_with%20cover.pdf)

2 WHO. (2017). *Global priority list of antibiotic-resistant bacteria to guide research, discovery, and development of new antibiotics*. World Health Organization.

<http://www.who.int/medicines/publications/global-priority-list-antibiotic-resistant-bacteria/en/>